

2 段補受験 「空手道について」

平成 23 年 3 月 12 日

西東京本部 浜田山支部

畠山 由香

私にとっての「空手道」とは、「家族のつながり」だと考えております。

我が家は、夫・三人の息子そして私の五人家族構成です。

家族全員、月心会の練習生として日々練習しております。

最近よく思うのは、思春期の男の子をもつ家庭は、親子の会話が減ると耳にしますが、我が家は会話が多いのではないか～という事です。

それは、共通の話題である「親子空手」があるからだ。

必ずしもそれだけではないと考えますが、同じ目標を持ち、その目標に向かって共に歩んでゆく事は、とても大切だと私は思います。

私共夫婦には「空手は幾つ年を重ねても続けられるもの。故郷に戻る事が出来れば、その土地で色々な人達に琉球空手、特に親子空手の素晴らしさ・大切さを伝えていきたい」という夢があります。

この先もずっと日々の練習をし続け、指導して頂ける事に感謝の気持ちを持ちながら、家族の絆を太く強めていきたいと願っております。

これからもご指導の程、宜しくお願い申し上げます。